

**安井 英章** 改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

**通学路の安全対策は進んでいるか**

問 通学路となっている交差点は安全対策が必要である。二ツ井地域では、いとく出入り口付近の五差路交差点が小・中学生の通学路で、また生活者の通行も多く大変危険である。安全対策を行うべきでは。

答 県道部分の安全対策については、右折レーンの設置や歩道の拡幅等について、地元町内会や学校関係者等の意見を聞きながら、管理者である県へ引き続き要望していきたくと考えている。市道部分の安全対策については、歩道拡幅に伴う用地買収等には多額の費用を要することから、財政負担が少ない整備手法等についても研究していききたい。

**都市ガス埋設管の更新は進んでいるか**

問 能代市の都市ガスは民間移譲する段階で、多くの事業者が埋設管が老朽化しているとして参入しなかった。その後民間に移譲されたが、埋設管の更新は進んでいるか。大地震が発生しても大丈夫なのか。

答 都市ガス事業は平成14年に民間に譲渡されており、市ではその後の地下埋設管の更新の状況は把握していない。

**その他の質問事項**

- 幼児・児童の安全対策は
- 水素ステーション誘致の働きかけは
- ドローンの活用

**安岡 明雄** 改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

**ふるさと納税新制度を好機と捉えるべき**

問 生産者のこだわりや顔が見える紹介など、ストリー性のある返礼品のPRに加え、移住定住や観光情報、市民生活など地域情報の一元化で能代の魅力を発信し、関係人口に結びつけてはどうか。

答 ふるさと納税では、特産品カタログや専用ポータルサイト等で地元産品等をPRしている。他の事例を情報収集しながら、イメージアップ等の取り組みを検討していききたい。市の情報については、ホームページ上で各種事業のSNSに一括でアクセスできる工夫など、利便性を高める取り組みを行っている。今後他他の事例を参考に調査研究していききたい。

**川崎市殺傷事件に不安を抱える保護者へ**

問 凶悪事件が多発しており、これまでより踏み込んだ対応が必要ではないか。不審な行動の住民に不安を抱く子育て世代が、事件以降、一層の不安を訴えている。どう対応するか検討状況の説明を。

答 不安を抱える市民の皆様に対応できるよう、市役所内にさまざまな相談窓口を設置している。相談があれば専門的な機関とも連携しながら、問題の改善や解決につなげ、不安が解消されるよう相談者に寄り添った対応に努めていく。

**その他の質問事項**

- 人口減少による地方創生の練り直しは
- 自立へのシナリオ・協働の取り組みの推進は
- 観光の成果で関係人口増につなげること

**落合 康友** 改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

**自伐型林業を推進する考えは**

問 自伐型林業は、現行林業と比べ10倍の就業者創出の可能性があり低投資で参入できる。採算性も高く確実な対価も得られ、不足する林業労働力の補完にもなる。当市でも推進する考えはないか。

答 森林所有者の高齢化による管理委託や機械利用の林産事業への移行により、自伐型林業は減少傾向にある。しかし、森林の管理形態は、実情に応じて多様であり、自伐型林業も地域の林業振興につながる取り組みの一つであることから、市としては、今後も引き続き、自伐等に取り組み団体に対する国の交付金に上乘せ助成し、支援していききたい。

**教職員の多忙化解消**

問 「当たり前」の学校業務を見直し、宿題廃止、定期テスト廃止、校則全廃など大胆な教育改革を進める公立校が登場している。昨年も多忙化問題について取り上げたが、現在の取り組み状況と今後の課題は。

答 昨年度より、お盆時期3日間の学校閉鎖、研修会の削減、研修のまとめ等提出物の削減、学校訪問の回数減、学校訪問の際の指導案の簡略化等、多忙化解消に努めている。また、市校長会と教育委員会において、多忙化防止協議会を設置し、働き方改革についての話し合いを重ねている。

**その他の質問事項**

- 今後の森林産業政策の方針
- 国有林経営への民間参入の影響は
- 学校業務の抜本的な見直しと大幅な削減